

平成 22年 5月 6日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19520116

研究課題名（和文） オルターナティブモダニズムとしてのメキシコ壁画運動の検証

研究課題名（英文） Investigation of Mexican Mural Movement as an Art of Alternative Modernism

研究代表者

加藤 薫 (KATO KAORU)

神奈川大学・経営学部・教授

研究者番号：40291968

研究代表者の専門分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・美学・美術史

キーワード：美術史、モダニズム、メキシコ、壁画運動

1. 研究計画の概要

20世紀現代美術の中で「メキシコ壁画運動」は特異な地位を占めてきた。その特質は脱西欧中心主義的モダニズム性にあり、背景には独自のモダニティー意識やモダナイゼーションのプロセスを経てきたことが挙げられる。そして21世紀には「オルターナティブモダニズム」という文脈で非西欧社会の現代美術を再解釈・再評価する動きの中で一大指標となった。当該研究は「メキシコ壁画運動」をオルターナティブモダニズムの表象としてとらえることの妥当性を検証するものである。

研究計画では年度ごとに異なるフェーズでの調査を実施し、最終年度において検証結果を提示する。

(1)フェーズⅠ： ナショナリズムや土着性といったバノキュラーな歴史、政治、文化伝統との相関関係の調査。

(2)フェーズⅡ： 中南米で普遍化されている「革命の美術」という特徴と、美術界における「美術の革命」という認識がどこでどのように交差するものなのかの調査。

(3)フェーズⅢ： メキシコ壁画運動で提起された問題の普遍性とオルターナティブモダニズム概念適用の妥当性をモダニティー、モダナイゼーションといった指標から検証。なお研究成果は出版物として公開予定。

2. 研究の進捗状況

(1)2007年度は以下の3項目を実施。

① 4年間の調査、資料収集、保管に必要な機器備品の整備。

② メキシコ側の調査協力機関と人材の特定および依頼、資料利用の際の著作権問

題などの解決。

③ フェーズⅠの調査としてメキシコ市および周辺地域の壁画作品調査と研究教育機関における文献資料調査。

(2)2008年度はメキシコと文化的関係の強い中米2カ国での調査を実施。

① グアテマラでは首都グアテマラ市において壁画作家カルロス・メリダの壁画作品とタブロー作品を中心に資料収集。(フェーズⅡ)

② グアテマラ固有の文化伝統確認のためチチカステナンゴなど6地方都市文化施設などの調査。(フェーズⅠ)

③ ニカラグアでは首都マナグアハジメ6地方都市における壁画作品の資料収集と革命前/後の美術と政治の関係調査(フェーズⅠ,Ⅱ複合調査)

(3)2009年度はメキシコ北部地域および中米エルサルバドルでの調査と、2007/2008年度の研究成果のまとめを実施。

① チワワ州におけるメキシコ独立から革命時の歴史資料調査(フェーズⅡ)

② バハ・カリフォルニア州サンフランシスコ山地にあるメキシコ最古の岩窟壁画調査(フェーズⅠ)

③ エルサルバドルでは首都サンサルバドルほか2地方都市における壁画と革命前/後の政治と美術の関係調査(フェーズⅠ,Ⅱ複合)

④ フェーズⅢの作業として2008年度までに蓄積したデータの整理、原稿化作業。

3. 現在までの達成度

= おおむね順調に進展

(理由)

- (1) メキシコおよび中米3国におけるフィールド調査、資料収集は予定通り実施できた。
- (2) 静止画、動画、文献資料など必要最低限のものは入手できた。
- (3) 研究成果公開に向けて、壁画作家ディエゴ・リベラの生涯と作品についての出版原稿をまとめることが出来た。

4. 今後の研究の推進方策

- (1) 最終年度はフェーズ II の研究をより精緻かつ深いものにするため、キューバ現代美術の壁画表現と政治の相関関係調査を実施予定。
- (2) フェーズ III の出力としてメキシコ壁画運動の巨匠と称されるホセ・クレメンテ・オロスコとダビッド・アルファロ・シケイロスの生涯と思想、作品についての考察を深め、出版原稿としてまとめる。
- (3) オルターナティブモダニズムに分類される現代美術は「メキシコ壁画運動」以外にも様々に存在することが明らかになってきた。今後はそれらについても検証可能な道を探る。

5. 代表的な研究成果 (研究代表者)

[雑誌論文] (計1件)

- ①『ディエゴ・リベラに関する50の質問』、神奈川大学経営学部17世紀文学研究会年報「麒麟」16号収録、査読無し、2007年3月、24-32頁

[図書] (計5件)

- ①「ディエゴ・リベラの生涯と壁画」、岩波書店、全960頁、2010年12月出版予定。
- ②『メキシコ壁画運動』、NPO法人世界遺産アカデミー編「世界遺産検定公式ガイド300」収録、毎日コミュニケーションズ、2010年4月、182-183頁。
- ③『図像から見えるメキシコ』、畑恵子、山崎眞次編著「ラテンアメリカ世界のことばと文化」収録、成文堂、2009年7月、78-100頁。
- ④『民衆メディアの誕生と発信するポサダ』、塚田美紀・野田尚稔編「ホセ・グウアダルペ・ポサダ」収録、世田谷美術館、2009年7月、34-42頁。
- ⑤『メキシコ絵画の楽しみ方と、日本の画家との交流について』、『作品解説』、美術展カタログ「メキシコ20世紀絵画展」収録、NHKプロモーション/世田谷美術館、2009年7月、4-8頁、10-24頁。

[その他] (計5件)

- ① 講演「メキシコ絵画の魅力」、横浜市緑区民文化センター、2009年7月21日。

- ② 講演「メキシコ絵画の魅力」、町田市市立図書館、2009年7月18日。
- ③ 講演「メキシコ絵画の魅力」、調布市市立市民ホール、2009年7月14日。
- ④ 講演「メキシコ絵画の魅力」、区立世田谷美術館行動、2009年7月11日。
- ⑤ 講演「ディエゴ・リベラの生涯と作品」、国際交流基金第1期異文化理解講座<メキシコの美の巨匠たち、美術、建築、写真、映画>第9回、2008年12月8日。